

私の 2020

吉田雅子

2020 年1月早々にて、木彫作家の次女夫婦と私の3人展が始まりました。まだコロナの影響も少なく、たくさんの方が来場されました。このような企画展をしてくださったギャラリーに感謝、最初で最後の展覧会になると思いました。

AC のボタン展、銀座三越展は、コロナのため来場者も減り不安を抱えながらの展示でした。ギャラリーも死活問題なので、私も微力ながら作品提供、寄付(買い物券になっている)をしました。小田原の「瞬」は地方なのと、固定客とオーナーの頑張りでいつも通りに来場がありました。年末の銀座三越の正月展、次女夫婦と私の出品もデパートが頑張ってくれました。

展覧会は下記の通りです。

①1+2展 /AC,GALLERY 1月7日～12日

②第16回暮らしのこだわり展 /回廊瞬 2月1日～29日

③Button-Inspiration 14/ AC,GALLERY 2月3日～9日

④秋を感じる上質な暮らしの道具展 /銀座三越 GINZA ステージ 8月26日～9月15日

⑤負けないよ！コロナ、暮らしのこだわり展 /回廊瞬 9月10～23日

⑥籠バッグ展 /AC,GALLERY 9月21日～26日 (オンライン展示 9月21日～10月21日)

⑦技で魅せる正月展 /銀座三越ジャパンエディション 12月9～31日



⑦の出品作「丑」

私の 2020

本間一恵

多くの人たちに多大な影響を及ぼした2020年。その中にあって、個人としてはあまりストレスや変化を感じなかった、と言うとちょっと不遜に聞こえるかもしれない。

確かに、いくつかの頼まれていた仕事は、中止や延期になった。だが、それは私が決断したことではない。つまり、私自身としては意に反してまで行動を変えたことはあまりなかったということだ。

思えばここに至る数年前から、参加する展覧会の数はすでに減っていたし、素材は敷地内の植物で十分賄われていた。作品を作るのは自宅だから、もともと在宅勤務。巣ごもりの一般化は、同類の増加に思えた。自然現象としての体力低下も進んできていたし、行動に関しては極力省エネだったライフスタイルは、外からお墨付きをもらってさらに安泰と化した。そんなわけで、コロナの世界に軟着陸したような次第。

外に出かけるのさえ面倒くさいというナメケモノが私の本質だと納得。でもそれなのに、いやそれだからか、不思議と作品らしきものは増えていた。一応バスケットリーニュースの年報も出したし、

先日は、こんな時だから行かずにすませられるな、と思っていた熊本も、結局行ってしまった。つまり、やりたくなったらやって、気が進まないことはやらない、といういつもの浮世離れたパターンだ。

このままいくと、次第に減速して、いずれ止まることになるのだが、そうした頃を見計らったように、投稿が届いたりする。そうすると、これを皆に届けなくちゃと、またモゾモゾ動きだす。そういう事情ですから、私のためにも記事を送ってください、皆様！



使えるような、使えないような「土器風味のかごたち」2020